

■ 特定課題

コミュニティにおける社会参加の促進と「孤」の解消

- 1、コミュニティへの参加を促す「しくみ」づくり
- 2、「コーディネート」,「テクノロジー」を活用した取組み

■ 大倉山ミエルの活動

『-1歳~101歳の居場所』

小さい拠点だからできることの見える化

ネットワーク型コミュニティ活動の活性化と、
普及のためのサポーター講座の開催

■大倉山ミエルの活動：『-1歳~101歳の居場所』

- 1、**カフェ**：シニア、子育てママ、小学生たちの居場所
『-1歳~101歳の居場所』
- 2、**活動をつなぐ活動**：地域の活動団体、行政、企業等の連携
- 3、**情報発信**：HP、Line、Facebook、Yuotube、
ZOOM『つながりMAP』『大倉山みえる新聞』
- 4、**Withコロナの時代**：リアル+Online
7月~Zoomによる『シニアの時間』『ママのおしゃべり会』『大人のための子ども相談室』



「おでかけミエル」 6月初～再開

101歳



シニアのおしゃべり会
(横浜市サービスB)

「ママのおしゃべり会」 6月初～再開

- 1歳



「ママのおしゃべり会」
妊婦のお助け会
(第2子)



シニアの軽体操・読書会等

ママと乳幼児



「働くママの会」育休ママ、働くママのおしゃべり会

『こどもが考える自由な居場所づくり』 7月～

小学生



「放課後ミエル」Youtube講座)

小学生



「子ども哲学」



乳幼児



「ちびっこミエル」



コロナ後の屋外活動：公園ピニック・エシカル畑 3月初～

屋外活動
：公園遊び



屋外活動：
森のようち
えん



オンラインのつながり：「ママのおしゃべり会」
「シニアの時間」「大人のための子ども相談室」5月初～

屋外活動
：畑遊び



※ エシカル畑：「熊野の森もろおかスタイル」

コロナで始め
たオンライン
活動



■大倉山ミエルの活動の目的

1. 小規模多機能自治の日常拠点
2. 地域包括支援の機能補完（シニアの見守り、子育て支援、学童、小さなケアプラザ）
3. エリアマネージメント
4. 災害支援に対するコミュニティカフェの力
5. 社会的処方としてのコミュニティカフェの在り方

■ 小さな居場所の重要性

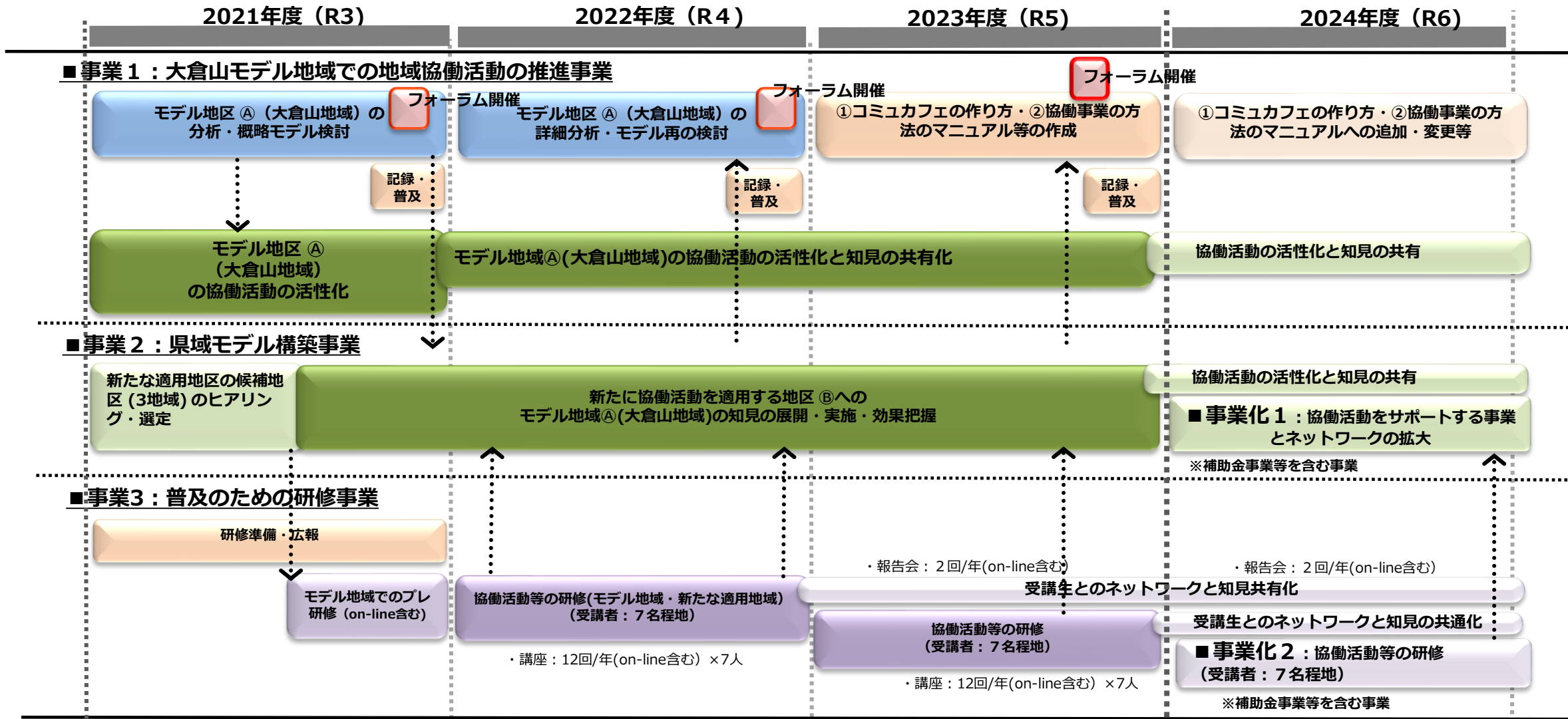
1. 小さい自立したコミュニティカフェの価値
2. インフォーマルで自由な居場所
3. 小さい拠点が小学校圏ごとに点在して、それらが行政や町内会・商店会とも日常的に連携活動を行うことで『コミュニティカ』が強まる
4. 動きが速い、縦割りではなく横に繋がる
・・・全生活と関わることができる。

活動団体をつなぐことのできる地域協働の活性化事業

『めざせ！日本一楽しいコミュニティ達』

※地域協働活動：地域での複数団体等が共に事業を行う活動。

■ スケジュール



課題：地域活動に連携活動が少なく、地域の課題、解決策の共有活動が進まない。



目的：アウトリーチを重視した活動を広げていくことで自治意識の醸成をはかり、コミュニティの活性化につながる活動の活性化と人材育成と普及を図る。

大倉山地区 (大倉山・菊名・大曾根・師岡) エリアマネジメントMAP



ミエルの大倉山地域でのアウトリーチ活動の実績

- 1 ハッピーマザーミュージック**
HMMの鈴木美子氏はミエル活動の以前から、ミエルの共同創設者、ミニコンサート等の開催、現、ミエルの理事
- 2 公園遊びの会「おるたん」立上げ・世話人**
フォーラムアソシエの活動として2005年に新横浜第1公園で乳幼児対象の公園遊びの会立上。
- 3 NPO法人フォーラム・アソシエ 立上げ・副理事長**
「がんばるママのご褒美講座」等を企画運営、現、副理事長、こどもの広場
- 4 NPO法人鶴見川流域ネットワーク**
毎年、お出かけ水族館の開催をはじめ、色々な活動を共催している。
- 5 大倉山おへそ 立上げ**
大倉山商店会と連携して空店舗を生かした商店街の中の居場所を整備・運営、ヨコハマ市民まち普請事業を採択。
- 6 熊野の森もろおかスタイル 立上支援・会員**
東北震災後、自然エネルギーで暮らす社会を目指し、活動を展開する団体、ヨコハマ市民まち普請事業採択（空地を生かした市民農園の整備）
- 7 Flat (熊野の森もろおかスタイルのメンバー中心) 立上支援**
空き家活用で高齢者の居場所を整備をアドバイス。
- 8 菊名みんなの広場 立上げ支援中**
菊名の空家取得から支援、近隣の活動団体（お出掛バス等）と共同運営を目指す。ヨコハマ市民まち普請採択、地域包括支援を目指す。
- 9 大曾根「空茶」**
住宅1階の空きスペースを利用した地域に開かれたシェアスペースを検討中、エリアマネジメント勉強会等を共催。
- 10 大曾根「プランテッド」による商店会活性化 (2020. 春～) 支援中**
地域WEBサイト「てくてく」の立上や大曾根商店会の活性化を模索中、県の経済振興課に繋ぐ、等
- 11 大倉山はちみつ保存会 立上げ・世話人**
菊名で20年養蜂を行ってきた菅野氏から、養蜂を引継ぐPJ、今秋ごろには引継ぐ予定で活動中(ミエルと熊野の森もろおかスタイルの共同事業)
- 12 樽町「NPO法人孫育て・ニッポン/産前産後カフェ」**
代表の榎田さんと産前産後ママさんのサイトを緊急対応も含め「ここみて港北」Webサイト公開 (共同事業)
- 13 菊名 らんがく舎**
宇田川氏は港北区災害ボランティア連絡会の代表で、ミエルでの「地域食堂」メンバーでもあり、今回の熊本水害の緊急支援に協力。
- 14 「街を耕す会港北」立上げ**
港北地域で障害者や弱者を支援を考える会の立上げに参加、障害者の舞台「ぶかぶかさん」の上映会・シンポジウムを開催。定例会を継続中。

大倉山地区（大倉山・菊名・大曾根・師岡）

活動拠点及び活動等

大倉山ミエル



ハッピーマザーミュージック



公園遊びの会「おるたん」



フォーラム・アソシエ



鶴見川流域ネットワーク



大倉山Oへそ



熊野の森もろおかスタイル



Flat



菊名 みんなの広場



プランテット



はちみつ保存会



梅町 産前産後カフェ



らんがく舎



街を耕す会こうほく



ぶかぶか上映会を実施

森のようちえん（ミエル）



1年目の手法・対象地域：大倉山地域

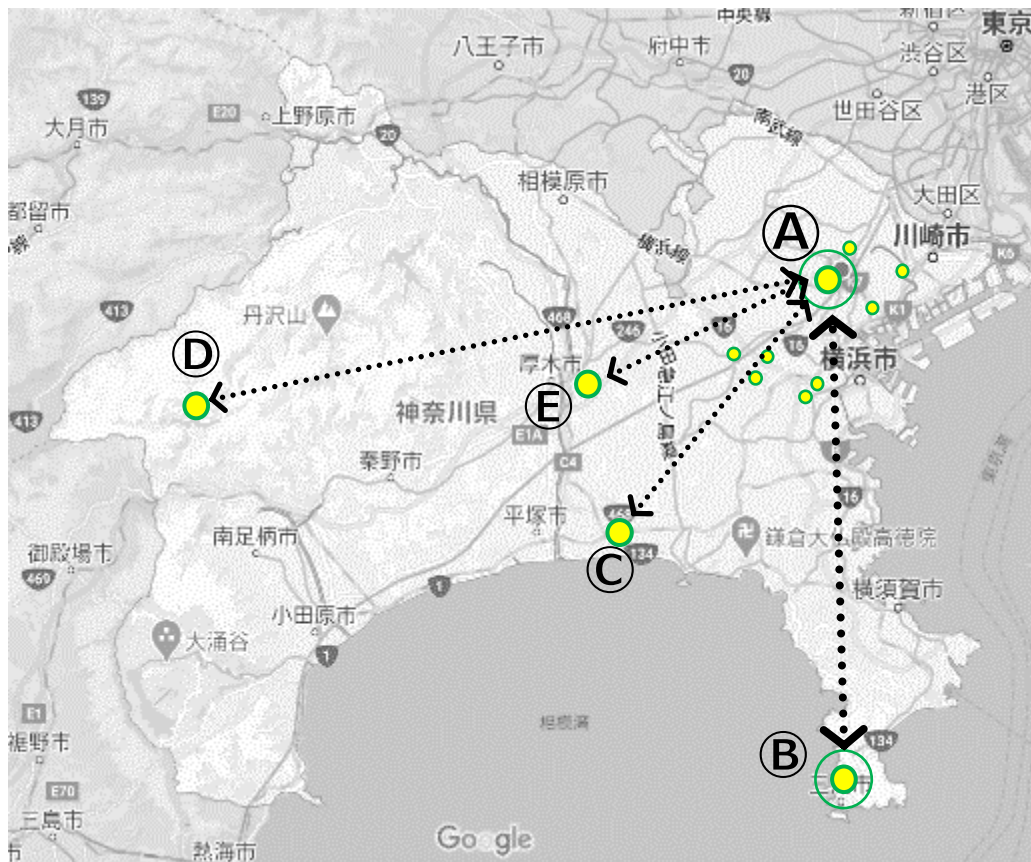
- 1 「ここみて港北」のさらなる展開
引き続き「ここみて大倉山」を作成、「てくてく」大曾根との連携システムの構築等により日常の身近な情報伝達と非常時の情報発信・支援の拡充を図る。
- 2 ミエルベビー部・企画部のさらなる活性化
ミエル活性化の原動力であるミエルベビー部・企画部の活動のさらなる活性化と、継続方法の検討を行う。同時にこれまでの経緯や活発化のメカニズムの見える化を図る。
- 3 はちみつ保存会の活性化
菊名で20年以上養蜂事業が今年秋ごろから、引受ける段階に来ており、主要メンバー6人の拡充と移設のボランティア募集等を通じて、地域根の広報と事業化に向けたスキーム作りを行う。
- 4 大倉山、町内会内等、地域での連携活動
町内会と関係施設・活動団体等との常時・非常時の連絡網づくりから始める。（単位町内会）
- 5 『第2回ワイワイ会議』
大倉山地域での新たな活動参加者を募集する。

2・3年目の県域で連携活動の手法

・地域特性は千差万別であり、地域により活性化の方法を考える必要がある。又、ハードルの低い活動で活動者を探したり地域に入って行き易い活動から始める。

- 1 出張公園遊び（1地域に3回程度）
出張公園遊びの開催支援や公園遊びと地域をつなぐお手伝い
- 2 子ども食堂（1地域に3回程度）
地域食堂の開催支援や地域食堂と地域をつなぐお手伝い。
- 3 認知症カフェ
シニアサロンの開催支援やシニアサロンと地域をつなぐお手伝い。
- 4 オンラインでの交流会の提案
地域により様玉な世代・テーマのオンライン交流会を仕掛ける（子育てママ、小学生、シニア向け、防災、町内会）
- 5 運営安定化のための補助金獲得の研修・提案支援

神奈川県



① モデル地域と② 適用地域（候補）

- ① 大倉山地域
モデル地域（大倉山・菊名・師岡・大曾根）ミエルのこれまでのネットワークを生かし、さらに活性化し、事業やつながりの見える化に取り組む。
- ② 主な候補地域（三浦市、想定）
主にサポート事業を行う適用地域の候補、小網代の森のNPO法人小網代野外活動調整会議とのネットワークが活かせる。
- ③ サブ候補地域（茅ヶ崎、想定）
サブ的にサポート事業を行う適用地域の候補、活動のマップづくり（横ブラ）とフォーラム・アソシエのネットワークを生かす。
- ④⑤ サブ的にサポート事業を行う候補地域（今後調整）

過去の活動実績の例（大倉山地域以外）

- 1 二俣川駅（旭区）
2019年、相鉄線、二俣川駅周辺町内会活性化を担当した（大倉山ミエルの事業）
- 2 反町
都心地区の空店舗活用の事例でもある障害者の支援施設でもあるコミュニティカフェ「反町ポラン」開設の支援活動を担当した。（横浜プランナーズネットワーク、以下横ブラ）
- 3 南永田団地
団地再生事業の一環で団地の空店舗を利用したコミュニティカフェ「サロンほっとサライ」開設の支援事業を担当した。引き続き団地再生業務を継続予定。（横浜ブラ）
- 4 綱島
緑アップ事業の支援で、計画案の作成等企画から支援を行った。（横浜ブラ）
- 5 南区（NPO法人NORA・学校地域コーディネーター）
NPO法人NORAの居場所づくり事業の支援を行った。（大倉山ミエルの事業）今年度は南区の学校地域コーディネーターの研修事業を引き続き担当している。（横浜ブラ）
- 6 230カフェ ヨコハマ市民まち普請事業のサポート採択
鶴見駅前地区で外国につながる子どもの支援を含む、コミュニティカフェの開設支援（横浜まちづくりコーディネーター）